



Global Peacebuilding Association

特定非営利活動法人 日本国際平和構築協会

【共催：京都国際平和構築センター（KPC）】

オンラインセミナー

2021年10月30日土曜日 20:00～21:30

柳沢香枝元マラウイ大使 元国際協力機構（JICA）理事

京都国際平和構築センター評議会委員

「平和・民主主義と貧困のパラドックス：マラウイの事例から」

- 20:00 開会の辞 明石康特別顧問
- 20:05 スピーカーの紹介 天野富士子理事
- 20:10 基調講演 柳沢香枝元マラウイ大使 元国際協力機構（JICA）理事 KPC 評議員
- 20:40 パネル討論
小松原茂樹 UNDP マラウイ常駐代表
坂根宏治 JICA スーダン事務所長 GPAJ 理事
- 21:00 自由討論 司会 長谷川祐弘理事長
- 21:25 次回以降の行事に関する案内

使用言語： 英語

開会の辞

明石康 特別顧問



国立京都国際会館理事長。関西学院大学客員教授。東京大学卒業後、バージニア大学で修士号を取得。1957年に日本人初の国連職員として採用。国連日本政府代表部を経て、国連広報担当事務次長、軍縮担当事務次長、国連カンボジア暫定統治機構事務総長特別代表、旧ユーゴスラビア問題担当・国連事務総長特別代表、国連事務総長特別顧問、人道問題担当事務次長を歴任。スリランカ平和構築日本政府代表、家族計画国際協力財団会長も務める。

スピーカー

柳沢香枝元マラウイ大使 元国際協力機構（JICA）理事 KPC 評議員



長野県出身。ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院（SAIS）修了。独立行政法人国際協力機構（JICA）にてウズベキスタン事務所長、アフリカ部審議役、国際緊急援助隊事務局長、東・中央アジア部長などを歴任。2005年から3年間は国連開発計画（UNDP）に南南協力シニアアドバイザーとして勤務。2014（平成26）年 JICA 理事。2016（平成28）年から2019年（令和元）年まで駐マラウイ大使。2021年からアフリカ協会理事。

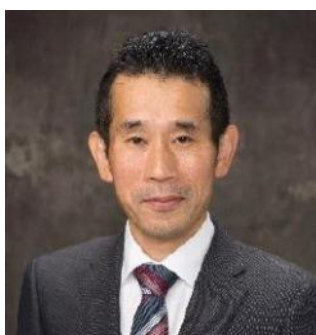
パネル討論者

小松原茂樹 UNDP マラウイ常駐代表



東京外国語大学卒業後、ロンドンスクールオブエコノミクス大学院で経済学修士号（国際関係学）を取得。（社）経済団体連合会事務局、OECD（経済協力開発機構）民間産業諮問委員会（BIAC）事務局出向を経て2002年より UNDP に勤務。本部アフリカ局カントリーアドバイザー、ガーナ常駐副代表、本部アフリカ局 TICAD プログラムアドバイザーなどを歴任、2019年6月より現職。

坂根宏治 JICA スーダン事務所長 GPAJ 理事



1991年より国際協力機構（JICA）勤務。カンボジア課長、ASEAN 連携課長、理事長室上席秘書、平和構築室長を経て、2021年2月より現職。カンボジア（1994-96年）およびインドネシア（2006-2010年）に駐在。外務省国際協力局国際機構課（2000年）および日本政府国連代表部（2001-2003年）勤務。英国ブラッドフォード大学平和学修士（紛争解決専攻）。早稲田大学政治経済学部卒。国際開発学会会員。

自由討論司会

長谷川祐弘 理事長



日本国際平和構築協会理事長、京都国際平和構築センター長。元国連事務総長特別代表（東ティモール担当）。カンボジア総選挙 UNV 選挙監視団統括官(1993)、ソマリア国連平和活動 政策企画部長(1994)、国連開発支援活動調整官(南太平洋 1985-86; ルワンダ 1995-96; 東ティモール 2002-06年)。国連システム学術評議会(ACUNS)東アジア連絡事務所長。日本国連協会学術交流担当理事。地球憲章アジア太平洋日本委員会理事。ミシガン大学政治学学士(1966)、国際基督教大学国際行政学修士(1968)、ワシントン大学国際関係開発論博士号(1984)。法政大学法学部国際政治学科教授、国連大学客員教授(2007-13)、京都芸術大学特別教授(2020-)。

議事進行

天野富士子 理事



国際機関 日本アセアンセンター 調査・政策分析クラスター長（現在）。ニューヨーク州弁護士。2009年度外務省委託事業 平和構築人材育成事業プログラムアソシエイト。国連麻薬犯罪事務所（中央アジア地域事務所）UNV 法務官（2010年-2011年）。外務省経済局経済連携協定交渉官(2011年-2014年)。外資系法律事務所や多国籍企業の法務部長を含む20年以上の法務経験。オックスフォード大学法学学士号取得(2000)。ロンドン スクール オブエコノミクス政治学修士号取得(1995)。ブリンマー大学政治学学士号取得(1994)